



## 何故か魚が少なくなりました

真光寺川を清流にする会  
世話人 山口拓郎

最近気になっていることがある。それは流れを泳ぎ回る魚がめっきり少なくなってしまったことだ。例年だとこの季節、オイカワやヨシノボリの群れが多く見られたものだ。そういえばザリガニも見かけなくなった。昨年はシジミがざくざくいたがそれもいなくなってしまった。相変わらず健在で悠々と泳ぎ回っているのは鯉だけである。

川の環境に何か変化が起こっているようである。異常気象の影響なのか。水質、水温の変化によるものか。一時的な現象に過ぎないか、恒久的に継続するものか。いずれにしても何か、彼等水棲生物が棲息しづらくなる変化が起きているようである。自然のメカニズムは複雑で容易に理解すること難しい。懸命に警鐘を発しているようにも思えるのだが・・・。

### {5月}

#### ○毎朝の観察にもとずく感想

ゴールデンウィークは好天に恵まれた。水の濁っている日が多い。特に気になるのは水面に浮かぶ泡である。洗剤であろうか。水底はきれいになり砂の粒子が見えるほどになってきた。変化が起こっている。

鯉は月半ばに繁殖期を迎えた。1匹の雌に複数の雄が寄り添い浅瀬の辺りで激しい水音をたてる。中には腹の辺りを傷つけられた雄もいる。自分のDNAを残す熾烈な闘いか。こんな日が2週ほど続いた後、もとの平穏にかえる。

#### 5月6日(水) 里親通信印刷・一木会

二田、山本、黒田、桜井さんと印刷。配布。夕方、魚民で一木会、山本、岩上、生江、黒田、桜井、黒田さん出席。いつものように水質の改善方法について侃々諤々。

#### 5月10日(日) 定期清掃日

快晴微風、絶好の清掃日和。スッポンが浮いている。和光鶴小の大野先生も参加。下堰～能ヶ谷橋間に、胴廻り15cm程の青大将を4匹発見する。終わっていちよう会館で反省会。「まつり」の準備について。

#### 5月19日(火) 環境保全課・訪問予約

最近の水の濁り、泡の状況をお話し、面談の予約をとる。

#### 5月21日(木) 水サンプル採集

夜明けが早い。5時に家を出る。泡が一面に浮かんでいる。泡の発生源を追跡する。上流の神明橋まで続いている。流出元を突き止めることはできなかった。

#### 5月22日(金) 環境保全課訪問

山本、黒田さんと訪問する。生江さんが撮影した白濁の証拠写真、下堰・観察記録を持参する。行政として定期観測は行っているが、

汚濁防止の決め手のないことが判る。

### {6月}

#### ○毎朝の観察にもとずく感想

入梅が宣言される。6日、ゲリラ豪雨と言のたろうか、激しく降り階段の下まで濁流に呑み込まれた。鴨の一家は急流で嬉々と水に戯れていた。相変わらず流れはきれいにならない。降雨で泥色に濁るのは気にならないが、雨が降らない日、暗緑色に濁っていることがあるのが気がかりだ。ある日、白い鯉が群れに加わった。2週間ほどいふと姿を見せなくなった。

#### 6月3日(水) 和光鶴小・2年生体験学習

午前中、松井先生のクラス70名が来る。生江さんと対応する。まずまずの天気で子供達も大喜びだった。ただお目当てのザリガニは少なく残念だった。

#### 6月5日(金) 鶴三小に報告書持参

昨年の「ごみフェスタ2008」の報告書65冊を持参する。新任の4年担当・太田堀江先生にお目にかかる。子供達が真光寺川へ行きたくっているとのこと。応援をお約束する。

#### 6月7日(日) 全国河川水質調査

6時に家を出て鶴見川の下川戸橋下流の親水へ。快晴で気持ちがいい。鶴見川沿いに歩き開戸親水を経由して8時に帰宅する。

#### 6月10日(水) 里親通信発行

支所で作業。山本、黒田、二田、桜井さん。配達終了後、鶴三小へ。新任の菊池副校長先生に面談。これまでの交流の経緯をお話しする。前任地は境川に近かったようだ。夕方、魚民で一木会。山本、黒田、桜井、生江、久山、吉田さん。「まつり」の役割分担等話し合う。

#### 6月14日(日) 定期清掃日

高曇、ごみは割と少なかった。終わっていちよう会館で反省会。「まつり」の準備と分担を決める。

#### 6月18日(木) 水サンプル採集

5時に家を出る。広袴公園で毎朝下堰で顔なじみの野田さんに会う。「まちびと」で定期清掃日のことを知った由。次回から参加したいとのこと。大歓迎！午後、和光鶴小・中島先生へごみフェスタの報告書35冊、お届けする。小菅先生にめだかプレゼントのめだかをお願いする。今年は屋上の水槽が壊れ飼育に失敗したようだ。虫のいいお願いだったかもしれないが調達がにわか心配になる。

#### 6月19日(金) 和光鶴小体験講座

午前10時、70名が来る。今年は4年生のクラスが真光寺川研究することになった由。生江さんと対応する。天気は上々。下堰が歓声に満たされた。

#### 6月26日(金) 鶴三小太田先生から電話

4年生の体験学習、7月8日午前に実施したい由、連絡がある。

#### 6月30日(火) 下水道部・訪問予約

真光寺川の上流部分を所管している部署である。できるだけ汚染の証拠資料等も持参するよういわれる。

### {7月}

#### ○毎朝の観察にもとずく感想

梅雨明け宣言がされたが、ぐずついた天候が続く。日照時間が少なく異常気象と報ぜられる。鯉の数はめっきり減り4～5匹となる。亀が浮いているのがしばしば見られた。濁りは少し収まったようだが、相変わらず泡が浮かんでいる日が多かった。

#### 7月3日(金) 下水道部訪問

最近の水質の状況を報告し周辺の下水設備設置の状況を教えてもらう。山本、黒田、山岡、岩上さん同行。上流の飯盛神社周辺一帯は未整備だそうだ。まつりに使うめだかの調達もお願いする。

#### 7月8日(水) 鶴三小体験学習中止

雨、いつものように6時に下堰へ。やや増水している。雨強くなる。7時過ぎ、太田先生から電話がある。川の様子を報告する。8時、中止と決まる。午後、支所で里親通信の印刷。山本、黒田、桜井さん。子供達の予防注射で混んでいる。夕方、魚民で一木会。「まつり」の準備と役割分担、めだかの調達等につき話合う。

#### 7月12日(日) 定期清掃日

「つるっ子」の児童15名、和光鶴小の親子4名参加する。野田さんも初参加。終わって「いちよう会館」で反省会。「まつり」前の最終会合。13時までかかって綿密な打ち合わせを行う。

#### 7月14日(火) 太田先生から電話

夜9時、太田先生から、先週延期になった体験学習を明日実施したい旨連絡があった。予定していなかったで慌てる。八方連絡し、ようやく山本、久山さんが対応して下さることになりほっとする。

#### 7月15日(水) 鶴三小・4年生体験学習

快晴。絶好の体験学習日和。山本、久山さんが対応。高原校長も見えられる。

#### 7月16日(木) 水サンプル採集

5時に家を出る。下堰・開戸親水で採集したところで、大腿部に痛みを覚え歩行困難になる。残念ながら「せせらぎ緑道」「鶴川設備工業裏」はギブアップし帰宅する。午後、鶴三小の運営委員会に出席する。子供達と地域とのかわりについて建設的な意見が交わされる。

#### 7月20日(月) 下堰親水の草刈り

8時半に集合、まつり会場の草刈りをする。山本、黒田、桜井、岩上、山岡さん参加。日射しが強い中、午前中一杯かかる。大腿部が痛く余り貢献できなかった。

#### 7月24日(金) まつり前日の準備

雨模様、翌日の天候が懸念された。めだかの調達とミニ水族館の魚の確保が最大の課題。夕刻ゲリラ豪雨となり、みるみる水嵩がます。集合したがなす術なく解散する。

#### 7月25日(土) 第8回真光寺川まつり

夜が明けるのを待ちかねて下堰へ。前日の増水は収まり通常の流れにかえっている。奇跡を見るような思いだった。全員張り切って準備に取りかかる。10時、予定通りオープニング。高曇、微風、絶好のおまつり日和となる。例年通り多くの子供達、親子ずれで賑わう。○魚釣り、水鉄砲、笹舟ながし  
○ミニ水族館  
○シュロの葉でバッタの手作り体験  
○和光鶴小の工作物販売  
○投網教室  
○勇壮な桶太鼓演奏  
○待望のめだかプレゼント  
下堰一帯は子供達の歓声に包まれる。そして3時にエンディング。恒例の夏の行事が無事終了した。(この項おわり)